基盤整備促進ワーキンググループの設置について（案）

資料３

1. 目的

地域生活を支えるための基盤整備の促進方策に関する調査審議を行う。

とりわけ、地域生活支援拠点等については、府内市町村の整備が進んでいないことから、市町村の参考となるような事例も交えた報告書を作成する。

２．検討内容

(1) 地域生活支援拠点等の整備促進

(2) 施設入所者の地域移行

３．WG委員 　７名程度　　　　　　　　　　　　　　　　　　（順不同・敬称略）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 職名 |
| 学識経験者 | 谷口　泰司 | 関西福祉大学社会福祉学部 教授 |
| 障がい者団体 | 井上　泰司 | 障害者（児）を守る全大阪連絡協議会  代表幹事 |
| 古田　朋也 | 障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議 議長 |
| 支援施設  入所施設・GH・  短期入所 | ― | 大阪府社会福祉協議会成人施設部会から  推薦 |
| ― | 大阪知的障害者福祉協会から推薦 |
| ― | 大阪手をつなぐ育成会から推薦 |
| 市長会 | 森川　護 | 摂津市保健福祉部障害福祉課長 |

４．スケジュール

平成30年10～11月 第１回ワーキング　 　※以降、3ヶ月に1回程度開催

平成31年７月 地域生活支援拠点等に関する報告書のとりまとめ